

令和7年11月 7日

千葉市長 神谷 俊一 様

千葉市新基本計画審議会
会長 鈴木 雅之

公共事業再評価について（答申）

令和7年9月24日付7千政調第30号により諮問のあった標記の件について、下記のとおり答申します。

記

1 審議対象事業

下水道床上浸水対策事業 北部第1地区第1排水区

2 審議経過

千葉市新基本計画審議会公共事業再評価部会は、令和7年10月20日に開催し、再評価対象事業について、千葉市から再評価の内容とそれに基づく対応方針（案）について説明を受け、慎重に審議を行った。

3 審議結果

審議対象事業について、千葉市の対応方針（案）「継続」に対し、千葉市新基本計画審議会の意見は次のとおりである。

事業（路線）名	所管部局	再評価実施理由	千葉市対応方針 （案）
下水道床上浸水 対策事業 北部第1地区 第1排水区	建設局 下水道企画部	事業費が予算化された後、 5年間の経過した時点で 継続中の事業	継続

千葉市新基本計画審議会の意見

【再評価の内容と対応方針（案）に対する意見】

再評価の内容と対応方針（案）は適切であると判断する。

本事業の対象地区である北部第1地区第1排水区は、本市の主要なターミナル駅であるJR東日本及び京成電鉄の千葉駅、および周辺には駅前ロータリーや商業施設、業務施設が立地する都市機能の集積した地区であり、千葉市雨水対策重点地区整備基本方針における『重点地区』として位置付けられている重要性の高い地区である。

また、当地区内にある千葉公園は、千葉市地域防災計画に広域避難場所として指定されている。

そのことから、過去の大雨により、椿森地区などの住宅地において度重なる浸水被害が生じるなど、多岐にわたり市民生活へ影響を及ぼしているため、都市機能の確保、個人財産の保護の観点から、早急に浸水対策を講じる必要がある。

また、防災拠点である千葉公園においても災害時利用の観点から整備の必要性がある。

現在、整備している雨水貯留槽などが完成することにより、効果が発揮されるもので、費用便益分析の結果からも事業の投資効果が認められるため、引き続き、事業費削減の工夫を図りながら、本事業の早期完了を目指していただきたい。